

千葉工業同窓会報

平成17年3月1日

第16号

発行 千葉工業同窓会



乾杯！毎年4月第1日曜日に母校で開催される同窓祭

目次

好日雑感	会長 安藤信吉	2	寿限無会 ゴルフ大好き少年 27EC 組会	
栄光と生き残りをかけて	校長 青木博一	2	遠く離れて母校を想う	14
同窓会事務局報告	長嶋孝雄	3	川崎 栄(25C) 佐藤榮吾(20C)	
同窓会報基金の報告	小林 昶	3	長谷川功(28C) 平野郁朗(31E)	
総務委員会活動	宮内 潔	4	「竹とんぼ教室」案内	15
支部連絡委員会活動	早尾 茂	5	多士済々シリーズ	小林 攻 16
レクリエーション委員会活動	海保 保	6	創立記念講演会	平山善吉 16
ボランティア委員会活動	古川仁司	7	進路状況	17
千葉工業この1年		8	東葛支部県外地区の設立	立崎作次 17
・消えるE1B ・スクールウォーズ 劇場公開			新支部長の挨拶	18
・連携教育協定締結 ・県知事賞2部門			渡辺武雄 高橋正己 岡本保彦	
・台湾職業学校来校 ・通学路清掃ボランティア			各地域支部の総会開催予定	19
・70才の生徒、表彰 ・修学旅行			栗田投手 リックス・ハーフアローズへ	19
・3年生進路がダンス ・製本講習会			同窓会本部役員紹介	19
クラス幹事一覧表		10	「同窓祭」開催ご案内	20
クラス会だより		12	編集後記	20
42年振りの同窓会 27MA クラス会				

好日雑感

千葉工業同窓会長 安藤 信吉



同窓会は我々にとっての人生劇場でもある。いろいろな人生を見事に生きてきた方々が、それぞれの世界にそれぞれの舞台を数多く持っている。同窓会も又その舞台のひとつ

である。ひとりでも多くの方々が、この同窓会劇場で、時には自ら演出し、時には自ら役者となり、時には観客のひとりとなって劇場全体が一体化したような世界を作り上げたいと願っている。

それができれば、それぞれの豊かな人生の上に更にもうひとつ豊かさを持つことになるのではないかと考えてる。同窓会がより良い人生を生きるための一助となれば嬉しい限りである。

今、私は支部でも本部でも多方面にわたる同好会の設立を強く望んでいる。それぞれの長い人生を通して趣味、特技が衆に優れているものを持っている方々は多い。それを、ひとりのものとはしないで他の会員にもお分け願いたいというのが私の考え方である。

いっしょに楽しむ人がいるということは、楽しみの最高のものと考えます。楽しみや、喜びを分かち合う、それが同好会の場だと考えている。今や、いろいろな同好会が設立されている。ゴルフ、麻雀、囲碁、料理教室、ハイキング、ボランティア、旅行会、見学会等々多彩である。しかし、まだまだいくらでも何とかかなと勝手に夢をふくらませている。更なるご協力を心からお願い申し上げます。

同窓会は、その限りない発展と充実の為に新しい発想、新しい提言を求めている。千葉工業同窓会は常に成長期にある。同窓会は食欲に何かを求めている。前向きな議論を必要としている。力を貸して下さることを願っている。たくさんの友情をありがとう。友情に感謝して筆をおく。(20M)

栄光と生き残りをかけて

千葉工業高等学校 校長 青木 博一



国際化、情報化、少子高齢化などの社会変化は予想を遥かに超えて急速に進展し、行政も学校現場も早急な対応が求められています。

こうした中で、本校では、17年度より電気科が1学級減と決定されました。教員数も3年後には、現在より6名以上が減ることになります。理由は特に示されませんが、推測するに、数年前に定員割れが生じた事、そして現在も定員確保に苦慮している事が一因かとも考えられます。本校としても、これまで安閑としていたわけではなく、高い進学者合格率や求人倍率を堅持してきた上で、広報活動の一環として、「中学生の一日体験入学」や「学校見学会」「進路相談室」「中学校訪問」などは言うに及ばず、小学生対象の「ものづくり教室」や中学生対象の「電子工作教室」「出前授業」まで実施し、中学校教員の「初任者研修」も引き受けています。また、特色化選抜においても、部活動等授業外で顕著な実績を持つ者を高く評価し、学校独自問題では、全国はじめての「技術」分野からの出題などの工夫を重ねていますが、いまだ効果はあまり明確になっていません。

本県では、これからも教育の合理化を目指し、高等学校再編計画等の教育改革がさらに進められてゆきます。本校といえども、検討対象の例外ではなく、栄光と生き残りをかけての取り組みがさらに重要となってきました。

本校といたしましては、今後、さらに教職員一同の危機意識を高揚し、教育力の向上を図ると共に、今までの諸活動を見直して充実に努め、併せて地域社会のニーズや時代等に対応しつつ、県民や生徒に納得し、感謝される教育を強力に推進したいと考えています。

今後とも、同窓会の皆様の特段のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

総務委員会の活動報告

総務委員会
委員長 宮内 潔(32C)



以前同窓会本部の中核として総務委員会が存在しておりました。その総務委員会が昨年度の総会において復活し、事もあろうに小生が責任者に

され、しかも、早速広報編集委員会から原稿書きを指示される羽目になりました。総務委員会は同窓祭実行委員会の作業も担当します。そして特別委員会に属さないすべてを網羅します。特筆すべき事は、対母校の窓口と求人・求職の相談窓口です。卒業生の会社社長等が母校の卒業生を採用したい場合、また、会社の都合で失職した卒業生が再就職する時に、同窓会として協力・相談に応じていければ良いと思います。既に相談に応じてまとまった数件の実績があります。

その他にも、同窓会としてやるべきことが発生したら即対応したいと考えております。当面は、同窓祭と母校のインターンシップ実施への協力支援をする事になります。

1) 同窓祭

昨年は天候がすぐれず例年に比べて参加者が若干少なかった。しかし、確実に同窓祭が定着してきたと思っております。これも同窓祭に参加された同窓生のご意見を含めて毎年実施しております反省会の場で、意見交換をして前向きな内容の検討結果を反映させる効果が大きな要素の一つだと思います。その事からも参加された同窓生には忌憚のないご意見をぜひお願いしたい。もちろん相反するご意見もあります。一例をあげますと挨拶ですが挨拶が多いとか挨拶が長いというご意見と逆にもっと多くの恩師に挨拶をとか言う意見があります。実行委員の我々もそれぞれもっともご意見だと理解しております。最初の頃は多くの恩師の方々にご挨拶をお願いした経緯がありますが、最近では先生方のご理解をいただき挨拶の時間が減って来ました。

このように、同窓生の貴重な意見が時には反映できない事もありますが、大変参考になっていることは事実です。

同窓祭は肩ひじ張らず普段着でしかもノーネクタイでの参加が基本です。何年振りかにお逢いした同窓生が本当に懐かしく昔話に花を咲かせます。現在県下に9地域支部がありますが地域支部に所属していない同窓生が多くおられます。又、地域支部に所属している同窓生も所属地域支部以外の同窓生と再会する機会は少ないので、同窓祭は楽しいものとなっています。今後とも、同窓生の忌憚のない貴重なご意見を頂戴しながら前向きに勇気を持って継続して行きたいと念じております。その為には一にも二にも同窓生の方々のご理解とご支援が不可欠です。

今年も来る4月3日(日)同窓祭を例年通り母校に於いて開催します。是非ご参加下さいます様にご案内申し上げます。私も、お逢い出来るのを楽しみにしておりますので声を掛けて下さい。

2) インターンシップ

一昨年から母校で実施しているインターンシップ(就業体験学習)に、同窓会も全面的に協力しております。昨年からはPTAも含めたインターンシップ協力者会議が立ち上げられました。この様な母校への窓口も当総務委員会の所掌です。母校のインターンシップ実施はまだ3回ですが多くの同窓生の協力で成果もあり同窓会側担当者として深謝申し上げます。我々の後輩生徒を3日間受け入れてくれる企業にとっては大変な負担だと承知しておるだけに頭が下がります。このインターンシップでは母校及び先生と企業及び社員間に信頼関係が生じたことも確かです。企業からは「さすが千葉工業だ、是非とも卒業生を採用したい」と相乗効果も発生しております。今後とも更なるご協力ご支援を！！

支部連絡委員会を開催・絆を深める

支部連絡委員会
委員長 早尾 茂(26E)



昨年5月に本部の総会があり、役員改選が行われ、安藤会長から支部連絡委員長を委嘱されました早尾です。

初代は宮内潔さん(32C)、私は2代目の委員長です。

本部の他に県内に9つの支部があり、それぞれが総会等を通じて交流を図っております。そして、本部として各支部の実態や問題点などを把握するためのいわば意見交換の場として「支部連絡委員会」が設けられております。昨年は9つのうち3支部の代表者が交代したこともあり、まず全体の実像をしっかりと把握するため、事前に各支部から様式に従い報告資料を提出して貰いました。

会議は平成16年8月21日(土)の午後、千葉市の「新千葉平成館」で行い、本部からは安藤会長、副会長2名、事務局長の4名に出席していただき、9支部からは代表者9名の計13名による会合でした。各支部の資料を事

前に配布しておいたので、説明は要点のみ簡潔に報告していただきました。ただし、問題点については多少踏み込んだ質疑応答をし、意見交換を行い切磋琢磨しました。

南総支部以外の各支部は、会員増加策が共通の悩みとなっている。会員がなぜ増えないのか？また会員がなぜ退会していくのか？

やはり同級生以外は、知らない者同士なので、親しみが湧くまでには時間がかかるものと思います。しかし、年代は違えども親友になってしまったら、同窓生の絆は強く固いものになります。

母校の場合、校舎が寒川・検見川・津田沼・現校舎と移転が続いたため、絆の弱い面がありますが、25年間続いた津田沼時代が黄金時代を迎えており、36年経過中の現校舎の卒業生達が大勢同窓会活動に参加して来なければ、やがては、千葉工業同窓会は縮小してしまうのではないかと、案じております。先輩の元氣なうちに多くの後輩の加入を希望します。

各地域支部の現状・活動状況・問題点

支部名	創立と経過		会員数 (人)	会報の発行		支部の活動状況と問題点
	創立年	経過年数		年間発行	号数	
南 総	昭和51年	28	220	3回	83	行事を企画しても参加者が少ない 創立30周年記念行事を平成18年に計画
北 総	平成 3年	14	170	2回	27	会員の増加策に苦慮し拡大化を検討中 名誉会員制度の見直しを検討中
市原市	平成 6年 (S56の再建)	11	141	1回	12	会員の増加対策、入会呼びかけ運動中 高齢化による退会申し出あり
千葉市・中	平成 5年	12	99	1回	12	支部活動は各種共に3支部合同で実施 会員の増加施策と経費削減策を検討中
千葉市・東	平成 5年	12	69	1回	12	支部活動は各種共に3支部合同で実施 参加者は役員中心、地区制を検討中
千葉市・西	平成 5年	12	110	2回	24	支部活動は各種共に3支部合同で実施 会員の増加策に苦慮し拡大化を検討中
外 房	平成 6年	11	100	2回	20	旅行・ゴルフ・懇親会等、会員規模拡大 「101運動」の展開、IT普及活動の展開
京 葉	平成 8年	9	140	1回	4 (P28)	他支部の活動と大差なく積極的活動中 活動のあるべき姿を模索中
東 葛	平成11年	6	77	2回	10	県外地区(東京・神奈川)を設置拡張 若年層指導者の育成を検討中

レクリエーション委員会の活動報告

レクリエーション委員会
委員長 海保 保(29E)



千葉工業同窓会レクリエーション委員会は、いろいろな趣味を持つ同窓生が、趣味を通して親睦を図り、同窓会活動を活発化することで母校の発展に寄与することを目的として発足しました。平成16年度も各種レクリエーションが順調に行われたことをご報告します。

一番長期に活動しているのが、「麻雀大会」で、平成16年10月23日(土)にJR千葉駅前通りの「麻雀大都」で第9回大会を開催、32名もの各地域支部の会員が参加された。個人優勝は、南総支部の高橋晴夫さん(47E)であった。また、支部対抗戦では、3連勝している「北総支部」が、4名の参加がなかったこともあって「千葉市西支部」が初優勝した。

次に歴史があるのは「ゴルフ大会」で常設会場としての「房総 C.C 大上ゴルフ場」で、平成16年10月13日(水)に第6回の大会を開催、各地域支部から54名の方が参加された。優勝は、市原市支部の山田俊雄さん(28E)で、年齢を感じさせない体力と慎重なアプローチにより素晴らしいスコアを出せたことを挨拶の中で本人が感激されていたことが印象に残った。支部対抗でも市原市支部が初優勝を飾った。

三番目は、囲碁同好会である。七段を持つ東葛支部の高橋健一さん(29C)が世話人で、平成16年度は、西千葉駅近くの「西千葉囲

碁センター」を常設会場として、年間4回の囲碁同好会を開催し、述べ90余名の参加があった。

次は、ハイキング同好会の活動で、年間2回実施しており、世話人は関口昌利さん(30M)である。平成16年度も春に1回さらに12月2日(木)に東京都下の三頭山へバスハイクを実施して32名もの大勢の会員・家族が参加された。

最後は、「男の料理教室」である。定年退職した男性は、それまで料理は全然しなかった方もいることから、皆でいろいろな料理に挑戦し、出来上がった料理を肴に「一杯会」を実施すると言う。平成16年度から始まったが、既に4回行っており、平成16年11月28日(日)には、常設会場「福酔」で、篠崎庄一郎さん(25E)と嶋村英男さん(30E)が「蕎麦打ち」を行い20名を超える同窓生が、打ち立て蕎麦に舌鼓をうった。世話人は石井孝司さん(30E)で、今後に期待したい。

各同好会は、同窓会とは別個に独自に活動を行っています。世話人が同好者に対して開催案内をしているため、通信費や事務費が必要となりますので、多少の会費を集めています。今後のご支援とご協力をお願いします。

各同好会への参加希望は、世話人までご連絡ください。また、新たな企画や同好の仲間がいまいましたら、レクリエーション委員会まで、ご連絡ください。

写真は「房総 C.C 大上ゴルフ場」の大会



ボランティア委員会の活動報告

ボランティア委員会
委員長 古川仁司(25E)



この度、千葉市中支部長を岡本保彦さん(33C)にバトンタッチしました。そこへ、安藤会長のアイデアや、前の職場のNTTでの経験もあって、校舎裏側やグラウンド側の除草

作業を行うボランティア委員会のお話がありました。千葉市中支部のエリアにある母校に恩返しと思ってお引き受けしたところです。

自宅の草取りも出来ない私がやって行けるかと心配をしましたが、同窓生有志のご支援とご協力で実施することになりました。母校の事務長にお話を伺いましたところ玄関正面の入口付近は、業者に委託して樹木の剪定や除草作業を実施しているが、校舎の裏側やグラウンド周辺は、生徒が授業終業時に30分程度小さな鎌で草刈りをしているだけと分かりました。情報技術科の裏庭、生徒会館脇などは、膝上まで雑草が伸びており、南側空地は2米に届く程雑草が伸び放題の状況でした。

生徒の草刈り程度では、全く手に負えないことが分かり、早速作業計画をたてました。そして、エンジン付草刈り機を数台(母校のもの、市役所から借用、個人所有を合わせて)、電動バリカン1台(個人所有)、刈込鋏、草刈鎌、熊手箒、竹箒、一輪車、燃料5ℓ、リールコード、漏電保護タップ(京葉支部の小

野靖雄さん(34E)の寄付)などの必要な用具類を確保しました。

千葉市西支部の海保 保(29E)、石井孝司(30E)、鈴木俊雄(33E)、湯浅秀男(34M)、千葉市東支部の山本敏雄(27C)、嶋村英男(30E)、千葉市中支部の篠崎庄一郎(25E)、古川仁司(25E)、鎗木 勇(28M)、岡本保彦(33C)、須合 徹(36E)、小林 昶(36E)、市原市支部の大野繁樹(36M)各氏と母校職員の黒川さん、計14名の皆さんの協力を頂きました。作業を行ったのは5月15日から8月25日まで、6日間で延べ48名が担当しました。

平成17年度も継続して実施します。除草作業以外にも、校門から入った坂道の両側を芝桜と紫陽花で飾るなどの計画もあります。ご協力を頂ける方のご連絡をお待ちしております。電話：043-227-4076



会長も激励に見えた。筆者は後列右端

平成17年度 各同好会開催予定ご案内

	名 称	開催日時	会場等	世話人	連絡先(TEL)
1	麻雀大会	17.10.22	麻雀大都	海保 保(29E)	043-273-8793
2	ゴルフ大会	17.10.25	大上ゴルフ	石井孝司(30E)	043-241-2526
3	囲碁同好会	① 17. 4.19	西千葉囲碁センター	高橋健一(29C)	0471-59-9367
		② 17. 7.19		石井孝司(30E)	043-241-2526
		③ 17.10.18			
		④ 18. 1.17			
4	ハイキング同好会	① 17. 4.14	佐倉市内	関口昌利(30M)	043-227-1507
		② 17.12. 8	房総鳥場山		
5	男の料理教室	日程未定	福酔	石井孝司(30E)	043-241-2526

千葉工業この一年

消える電気科1年B組

平成17年度から、電気科が1学級減り、現在の2学級から1学級になる。県内の中学校3年生が2,000人以上減るための影響で、県内の高校で52学級が減になる。



平成17年3月31日で姿を消す電気科1年B組

スクールウォーズ劇場公開

平成16年9月、昨年母校を主要舞台に撮影された劇場用映画「スクール・ウォーズHERO」が全国一斉公開された。



松竹ホームページで紹介されている母校グラウンド

高校・大学 連携教育協定締結

平成16年3月11日、県内11の工業系高校と7大学の代表者が集まり、「連携教育協定」に調印した。高校生が大学の授業を聴講したり、大学教授による出張授業をおこなうもの。推進委員会の委員長は、母校校長青木博一先生。連携大学は、千葉工業大、帝京平成大、東京情報大、東京電機大、日本工業大、日本大、明海大。

県知事賞2部門で受賞

平成16年11月19日、茂原工業高校で、千葉県高等学校工業教育研究会主催「第21回総合技術コンクール」が開催された。母校から出場した定時制 中村有宏(ありひろ)君が「電気工事部門」で知事賞を、全日制 富山炊陽(かひ)君が「溶接部門」で知事賞をそれぞれ受賞した。

台湾国立羅東高級工業職業学校来校

平成16年5月27日、台湾の国立羅東高級工業職業学校から生徒30名・職員7名と通訳が母校に見学来校した。見学後、母校生徒との交流座談会・台湾民謡の披露・記念品の交換をした。



交流後の記念撮影(左:羅東工業生徒、右:母校生徒)

通学路清掃ボランティア活動

JR蘇我駅から母校までの通学路を、学年ごとに年3回、清掃している。奉仕活動から、地域社会との連帯意識を高め、ボランティア精神を養う目的で行っている。



通学路でゴミを拾う生徒たち

70歳の生徒 平賀健治さん 表彰される

平成17年3月7日、「卒業生を送る会」において、定時制 平賀健治さんが、「産業教育振興会中央会」賞を受賞され、青木博一校長(代読)より賞状の授与が行われる。平賀さんは、70歳の高齢でありながら、向学心に燃えるその情熱は、本校眼前に在るJFEスチールの溶鉱炉のように熱く輝いている。日々、孫のような生徒たちと机をならべ学ぶ姿は、生徒たちの模範となり、真に勤労学生の鏡となっている。

(定時制 総務・進路部 竹内由一)

北海道へ沖縄へ修学旅行

全日制2年生は、平成16年2月10日から3泊4日、北海道 富良野スキー場へ、スキー修学旅行をした。スキーの基礎技術の習得・雪国の生活や文化を体験で学ぶ目的で行われた。



班別にわかれレッスンを受ける生徒たち

定時制4年生は、平成16年10月23日から2泊3日、沖縄に修学旅行をした。世界遺産の「首里城」や「ひめゆりの塔」などを見学し、沖縄の歴史や生活を肌で感じていた。



首里城守礼の門の前にて

インターンシップ(就業体験)

平成16年11月から17年2月にかけて、2年生112人が企業58社で就業体験をした。今年3年目を迎え、実施後の生徒アンケートによると、仕事に対して印象が変化し、仕事を実感し、進路を決めるにあたり役に立ったようだ。

3年生進路ガイダンス

平成16年5月12日と9月15日、3年生を対象に「就職の心構え」「就職試験直前対策」について、講師 藤原 徳子先生の講演と模擬面接をした。講師略歴 (株)ボイスコレクション、人事院式監督者研修指導員、日本商工会議所登録講師、国土交通省航空保安大学校客員講師



体育館で講師と生徒の模擬面接

図書室で製本講習会

平成16年7月23日、千葉県高等学校教育研究会学校図書館部会主催の製本講習会を、本校図書室で開催。講師に朝日カルチャーセンター 岩崎 博先生を招き、和とじ本・資料製本の講義と製本実習を実施。母校からは職員・生徒(図書委員)が参加。(図書 田口 洋江)



先生方にまじって製本実習をする図書委員の生徒

千葉工業同窓会クラス幹事一覧表

「同窓会名簿」に掲載されている

「クラス幹事」を一覧表にしてみました。

- ・ 空欄のクラスは、幹事がいません。
- ・ [] で、示した方は名簿に住所の表示がありませんでした。
- ・ 自分のクラスの「クラス幹事」を確認して、不備がありましたら、お互いに連絡を取り合ってください。
- ・ 追加・訂正は、同窓会事務局まで・・・

千葉工業同窓会事務局

〒260-0815

千葉市中央区今井町1478

千葉工業高等学校内

電話：043-264-6251

FAX：043-268-5524

事務局長：長嶋 孝雄(42E)

	工業化学科		機械科/電子機械科		
	A	B	A	B	C
S24	村山 茂二				
S25					
S26	立崎 作次	澤川 恒夫	柳川 洋	篠田 良一	
S27	根本 栄	植草 光春	福石 敏一		
S28	河野 崇	大澤 恒夫	穴倉 明光	貫洞 哲男	藤井 秀喜
S29	初芝 信次	水口 省司		岸本 義清	
S30	北原 豪彦	鈴木 理一	川島 芳夫	宮原 敬	
S31	増谷 博		井澤 保治	高宮 和雄	
S32	金親 兼弘	植村 英夫			
S33	岡本 保彦	君塚 義勝		岩内志津夫	
S34			小俣 昭雄	若林 整芳	
S35		飯田 譲吉	宮代 次雄	三辻 勝	
S36	牧野 真徳	國吉 重徳	佐竹 昭男	大野 繁樹	真野 荏
S37	宮坂 勝利	今井 和夫	高木 敏夫		北川 文彰
S38	古矢 勝		橋本 博吉	金子 衛	
S39	近藤 秀文	安藤 貞夫	吉田 茂	白井 正治	
S40			若松 正明		大塚 英明
S41				栗飯原和雄	吉原 公明
S42	御麩納照雄	山口 広己			篠崎 一男
S43	高沢 俊夫	金網 重光	三澤 明廣	岩井 英憲	
S44	山田 和夫	椎名 等			
S45			吉田 一宏		木内 和博
S46				青木 幸平	大塚 順一
S47				小倉 誠	
S48			大野 利夫	上村 和義	石橋 勝明
S49			橋本 進		中澤 直樹
S50		高橋 克己		岩立 一郎	
S51					若梅 常雄
S52		北崎 昭彦			松井 等
S53		高島 剛			和田 裕之
S54	時田 英治		大澤 重則	村田 広樹	伊藤 公一
S55		花島 芳明		鈴木 繁	中川 孝博
S56	笠川 宏幸		竹内 正人		
S57	阿波 史章	千脇 庄司			谷地 進
S58			仲田 勝利	木内 常之	
S59	宮台 博	小河原 実			
S60		椎名 広	比連崎正幸	櫛引 正之	
S61					
S62			千脇 浩二		嘉本 晃
S63	大塚 智		水白 靖之		篠田 浩
H 1			柴田圭一郎		
H 2	大沼 正俊	湯口 貴則	橋本 裕美	牛房 康由	
H 3			板倉 栄一	三橋 祐治	溝口 孝博
H 4	山口 和貴	佐久間広和	原木 佑一	田中 利佳	鈴木 良二
H 5	橋本 直樹	相葉 忠	古山 誠	佐久間真也	芦ヶ谷 治
H 6	佐々木伸治	安藤 敬幸	岸 正明	荒井 英史	菅原 大輔
H 7	岡本 淳	福原 和幸	斉藤 隆介	田邊 一之	山崎 慎司
H 8	岡崎 慎	横堀 昇一	櫻田 誠	上原 正和	相川 将規
H 9	斉藤 弘之	藤田 清	酒井 賢作	西谷 純	野城 淳一
H10	武内 淳	石倉 忠重	倉本 克紀	石川 桂輔	石川 雄一
H11	安田 喜孝	上村 友樹	内藤 亮	石橋 篤史	
H12	小澤 毅彦	岩永 浩明	酒井 朝盛	宮崎 拓	
H13	原田 真一	監物 伸欣	拾雄 悠太	東條 雅典	
H14	前田 陽介		倉本 拓也	佐藤 寿樹	
H15	奈良 優作		紺野 顕司	入野 健志	
H16	中村 圭介		福原 賢二	上畑 祐吾	

	応用化学科	機械科	電気科
13年3月2部	伊藤 及也		
14年3月2部			
15年3月2部			
15年3月本科			
15年3月2本科	川崎 憲		
16年3月本科	鶴沢 広		
16年3月2本科			西野 昇
16年12月本科			
17年3月2本科			高野 龍雄
17年12月本科	白鳥孝次郎		
18年3月2本科	田村 昇		伊藤 義秋
18年12月本科	内山 茂		竹下 一夫
19年3月本科	安田 良平		高橋 栄蔵
20年3月本科			石井 昭哉
20年3月本科		斉藤 清	
20年3月2本科		国友忠一郎	
21年3月本科	伊原 融	秋葉 恒男	江野沢 雅
21年3月2本科	潤間 茂	北詰 榮男	
23年3月本科		長嶋 勇治	中務 二
23年3月併中	小柳 宏一	中野 弘	堀井 民司
24年3月本科		海宝 博	
24年3月併中			伊藤 俊雄

電気科			情報技術科	定時制機械科		定時制電気科		
A	B	C		B	C	A	B	
濱田 義雄								S24
山中 敏雄	高橋 隆	古川 仁司						S25
	日暮 輝一							S26
田沢 明巳	大谷 貞夫	宇田川健夫						S27
清水 行雄	松井 勝	萩田 勝俊						S28
山本 功	広瀬 教夫					吉田 國男		S29
石井 孝司	大谷 信輝					染井養治郎	嶋村 英男	S30
田中 敏男								S31
栗生喜三男				植草 武				S32
大藤 茂	石橋 邦夫			和田 暁仁				S33
石渡 義一	鈴木 甫							S34
長沢 尚夫								S35
	小倉 正	菊 昭彦		中村 洋志		古川 英之		S36
山川 忠男	菊間 義昭	板倉 正芳		高橋喜久雄		中村啓二郎		S37
	土屋 憲司			芝沼 隆一				S38
								S39
川崎 博愛	鈴木 健之					宮内 祥恭		S40
成毛 充敏	中崎 千秋	小川 道雄		小杉 一雄				S41
中村 実	矢代 正巳	阿部 明						S42
加藤 隆史	前田 一幸	大野 孝			内海 善和	秋本 宏		S43
斉藤 義二	菊岡 賢次				網城 武雄	平嶋 健一		S44
石井 晴夫		伊藤 正博		久住 鶴昭				S45
高井 久		稲毛 薫						S46
伊藤 秀明		田岡 了						S47
	土田 憲司	田島 滋		勝間田 泉				S48
岡本 住和	橋田 和久		仲田 明彦	山川 博				S49
鶴見 喜孝			渡邊 誠司	中川己佐男				S50
	柳沢 武			塩森 泰宏		杉田 豊		S51
江沢 勲	宮野 定							S52
寺久保 満						山口 宗治		S53
穴倉 秀男	酒井 快繁							S54
初芝美喜男	林山 洋一							S55
	池端 雄一							S56
野元 和彦	嵐田 敏広				大塚 武司			S57
斉藤 俊哉	齋藤 勝久							S58
			石田 和典	大木 実				S59
市川 将範	伊藤 隆		田口 洋一	小宮 清				S60
押火 博之	佐久間淳一			金子 英城				S61
	大村 忠史							S62
齋藤 剛	森 直博			鈴木 正幸				S63
勝股 禎文								H 1
伊藤 孝明	鈴木十六月							H 2
七種 智之	高橋 勝彦		中川 絵美			湯澤 弘次		H 3
木村 温	泉 順直		山根 博	金子 浩美		原田 直樹		H 4
七種 康貴	西田 晶		大塚 誠	安斉 健司		塩瀬 千寿		H 5
平居 弘康	村本 亮		島貫 良平	田上 秀和		鈴木 幹也		H 6
中山 英	佐久間尉仁		立花 友秀	中根 慎一		高橋 奨吉		H 7
山口 靖之	敦賀谷和也		秋葉 孝志	林 善和		市橋 智一		H 8
鈴木 康樹	草刈 厚博		山之内良和	嵯峨 明		橋口 憲二		H 9
佐々木 誠	萱野 寿典		相川 大介	川島 幸雄		深作 雅則		H10
黒相 憲一	田村 俊彦		西 雄一郎	山瀧 孝行		塚本 尚徳		H11
高橋 健治	嶋村 明彦		井河澤聡美	網谷 淳		三嶋 洋		H12
狩野 洋介	中村 聡司		竹澤 大輔	伊藤 貴光		池田 宗之		H13
片岡 裕樹	井上 卓		大村 亮平	加藤 豊史		佐藤 弘一		H14
豊田 知宏	白須 真之		在原孝太郎	石岡 望		小田 正人		H15
長野 智彰	遠藤 瑤介		瀬戸 善正	菅 賢二		大貫真太郎		H16

42年振りの同窓会、3科合同で！

金子 衛(38M)

出席者が会場のホールに到着するたびに大きな輪ができ、「やーやー久し振り、元気だったか！」と声が上がリ、握手、握手。平成16年11月14日、千葉駅前「ぼるるプラザ」に昭和38年卒業の3科の卒業生60名が、還暦を記念して卒業後初めてここに集いました。

当時の恩師3名と現在の学校長・青木博一先生をお迎えしてのパーティーは、記念撮影から始まりました。誰かが曰く「風貌からは、どっちが先生か生徒か判らんね」との声に一同どっと笑う。ここでパチリ。

乾杯を菰田先生(化)にお願いしパーティーの開宴。続いて保立先生(機)、布施先生(電)にもご挨拶をお願いしましたが、いずれも定年退職後の生き方や趣味の生かし方などをご教示いただきました。いくつになっても恩師からは教えられることばかりです。母校の現状を青木校長からご説明をいただきましたが、「就職率100%」に全員納得。

最後は、全員で津田沼校歌を声高らかに歌い、あっという間に3時間のパーティーはお開きになりました。なお、翌日は有志によるゴルフコンペを楽しみました。

写真は、上から工業化学科、機械科、電気科



27M(A) クラス会

泉崎謙一郎(27M)

M27A組クラス会の名称は何故か「026会」という。毎年6月実施を定例とし、平成16年度は1泊2日で前年に引き続き同じ会場である千葉市内の「オークラ千葉ホテル」にて18名(会員夫人3名含む)参加して開催した。いつもながら学生時代の延長線上となって、賑やかで楽しい一時である。

16年度は、昨秋故人になられた藤崎悌吾君の夫人が会葬御礼かたがた出席された。毎回出席されていた恩師大久保道太郎先生の夫人が亡くなられ、同夫人の遺志を継いで平成13年当会において恩師の33回忌法要を検見川の「広徳院」で執り行った。この会もまだまだ長く続きそうな勢いであるが、病気等で遠出や泊まりが難しい人もいるので多くの人に参加してもらえるよう工夫が必要になってきている。クラス会の話題は加齢とともに変わってきている。最近では、年金のことなどの話題もでてくるようになった。一昨年に古希を迎え、殆どの級友が何かしらの持病があるようで、この病と仲良く付き合うのが長生きの秘訣との話であった。

我がクラス会運営についてご紹介する。

- ①緊急事態発生時のための「通報システム」を定めている
 - ②慶弔等の扱い方を定めている
 - ③クラス会開催時に次年度幹事を選んでいる
 - ④毎年新しい会員名簿を発行している
- なお、通報システムについては、死亡、病状等によりその都度変更している。



クラス会（寿限無会）

小倉喜光(30M)

寿限無会 30M、B組は、発会当初会員 43 名でしたが、古希も近くなり物故者は 3 名を数え健康不調の人が多いのも確かです。県内、近県都下に居住でほとんどの人は自適の生活を送っている。ここ数年、回り番で幹事を定め湯河原、袋田、九十九里、千葉、丹沢、銚子といずれも一泊親睦旅行を行い、元気でいられる英気を養っている。写真は 16 年 11 月銚子旅行で立ち寄ったヤマサ醤油工場見学時の記念のものです。



ゴルフ大好き少年(?)の集い

戸村芳博(36E)

久しぶりのゴルフの集いでした。還暦を迎えて早 2 年、第二の職場もリタイヤした人、まだ頑張っている人、卒業以来久しぶりに会う人も数分経つと少年の顔になり話が弾みにぎやかなスタートでした。今年も開催する予定です。参加希望者は、戸村(075-52-1005)、小林(043-264-5371)まで連絡ください。



27年E-C組会の開催

永井和男(27E)

かなり長期間にわたって、隔年開催し続けたクラス会を、平成 16 年 11 月 7 日に計画し盛会裏に実施することが出来ました。

会場は千葉市新千葉の「平成館」先輩佐野尚男(20C)さんの経営するお店です。アットホームに接して頂けるのでゆったりと懇親の時間を過ごさせて頂きました。

全員古希を過ぎましたが、皆元気な様子で旧懐談に花を咲かせていました。さすがに寄る年波は夫々に感じられ、年輪にも似た風格を表しています。現在行っている健康法を語る人が居ます。過去の大病から復帰したことを語る人がいます。卒業後 52 年の時間は人生の大半を占めており、健康で会える幸せを心から喜んでいる様子うかがえました。

年々出席者は限られ、かつ減少する傾向を表しています。出席者からいつものことながら次回の催促を楽しみにしている旨の声が出ました。会は約 3 時間の和やかな場を過ぎて閉会しました。

幹事数名で名簿を整備し、クラス員の実態把握に務めています。このため転居した場合は、転居先を幹事に連絡する等、クラス員の協力を仰ぐことが出来ます。クラス会開催連絡によるメリットは、併設中学を含めたクラス員全員の動静が把握し得ることです。42 名中、連絡不能者は 6 名となっています。

今後ともクラス会開催希望者がいる限り少人数でも継続していきたいと思ひます。



検見川の思い出

川崎 栄(25C)

(静岡県藤枝市在住)



入学して2年目の昭和20年、うららかな春の日に、検見川台のモダンな木造校舎から南を眺めると、黄色の芥子菜の花が一面に咲き乱れ、波がきらきら光る東京湾には帆掛け舟が浮

かび漁をしていました。戦況が悪化して7月、軍事教官から「敵米軍の房総半島上陸を阻止する為に竹槍訓練を始める、明日から早く登校するように」と通告されました。翌日の早朝、幕張駅に降り立った千工生に対して、見知らぬ女性が、「学校は空襲で焼けてしまった」と教えてくれました。

終戦後、校舎は津田沼に移り、混乱の中で卒業しました。就職は、(株)科学研究所へ、現在の科研製薬(株)です。工場が大井川沿いの藤枝市に新設されて移住しました。定年退職後再就職し、12年間嘱託職員として、焼津市鏗節水産加工業協同組合で働きました。

校舎跡地に記念碑が建立されたと聞いて、見に行きましたが、検見川校舎の跡地の周辺には昔の輪郭が残り、懐かしく思い出されました。

三百字の自分史

佐藤 榮吾(20C)

(旧姓・星、宮城県本吉郡志津川町在住)



私は昭和16年4月から県外生として、千葉市内の叔母の家から京成電車で通学した。

3年生の時、学徒動員で幕張の工場で働いた。「非常時だから勉強どころではない」と、20年3月に4年で卒業した。学校で就職の斡旋をしてくれたが、仙台空襲の噂に負けて就職を取り止め、郷里で家事手伝いをした。

新制中学校の発足に当たり、英語科講師を

頼られ、その後中学校の教員を勤め、昭和63年に隣町の中学校長で定年退職をした。

同窓会の案内も毎年いただき、ようやく平成3年に45年ぶりで同級生の有志と懇談し、記念撮影など楽しいひと時が忘れられない。

現在、腰痛に悩みながら、好きな書と表具の趣味に生きがいを感じている。

母校の発展を祈念しつつ。

帰りたい郷愁

長谷川 功(28C)

(秋田県秋田市在住)



会社の転勤で秋田に居をかまえてから、24年があつという間に過ぎました。10年前に開催された合同同窓会(S28年卒化学科卒A・B組)は42年ぶり

だったのでB組担任の段木・田久保両先生始め同窓生の変貌に長い年月の流れを実感しました。あれから10年古希を迎えた今、又懐かしい会が開催されることを心待ちにしている今日この頃です。

現在は、地域活動の一端で秋田市交通指導隊員としてボランティア活動中です。児童の登下校、県市の催事(竿灯祭り、市内各神社の祭り、駅伝、マラソン等)が年間通してあり、その都度交通緩和や歩行者の交通安全を図るため街頭立哨します。最近は高齢者の交通事故が多発しているため市内の各老人クラブで、交通安全教室を毎月開催して日々忙しくしております。

今では、私もすっかり秋田県人になりつつありますが、まだ千葉に帰りたい郷愁にかられ複雑な心境で毎日を過ごしております。

母校のホームページアドレス

<http://www.chiba-c.ed.jp/chiba-th/>

遠く離れて千葉工高を想う

平野郁朗 (32E)

(静岡県三島市在住)



千葉工高電気科を卒業して後、40年余りを静岡で暮らしていますが、母校を距離的に遠く感じたことはなく、あれから時間ばかりが遠く過ぎ去っていった感があります。

千葉工高を想う時、電機メーカーに就職して定年を向かえるまでの長い間、自分が関わってきた仕事に思いが巡ります。工高での専門科目の「電気機械」を、当時の矢野先生が担当されていましたが、先生の講義は大変分かり易く、奥深い内容だったので、私はすっかりこの科目が好きになりました。将来は電機メーカーに入り、電気機械の特性を究めるような仕事をしたいと漠然と思っていたところ、就職活動の時期に、当時の電気科の実験用電気機械の大部分の製造者であった明電舎から求人があり、飛びつくように応募して、就職することができました。その後、働きながら大学の夜間部に学び、専門知識を深めたことと、会社が中規模だったこともあり、会社での大半を変圧器工場の研究開発部門に席を置く幸運に恵まれ、主に電磁現象に関する研究で、超高压大容量の電力用変圧器を、数多く世に送り出す一翼を微力ながら担うという、やり甲斐のある仕事に就くことができました。

これも、矢野先生との出会いがなかったら別の道をたどってきたかも知れないと思うと人生の妙というか、不思議な縁を感じます。

原稿・情報を、お待ちしております。

多くの皆さんの声を掲載して、身近な同窓会報を目指します。ご意見・提案、情報を事務局・編集委員までお知らせ願います。

広報編集委員会

恒例「スーパー竹とんぼ教室」案内

主催 千葉竹とんぼ倶楽部

(千葉工業同窓会)

日時 平成17年4月3日(日)9時~11時

場所 県立千葉工業高校 食堂

参加費は無料です

(材料、道具は倶楽部で準備)

同窓祭の前に「スーパー竹とんぼの作り方教室」をおこないます。ご家族を含め大勢の皆様のご参加をお待ちしております。

同窓祭の「竹とんぼ」でお馴染みの湯浅稔(38M)さんが、「創作竹とんぼ個展」を千葉信用金庫本店の1Fロビーで開催し、その様子が千葉日報(H16.11.17)に紹介されました。(千葉日報より)

千葉竹とんぼ倶楽部代表の湯浅稔さん(38M)が中央区在住の千葉信用金庫本店ロビーで創作竹とんぼ展を開催している。約百点の手作り竹とんぼを展示し、湯浅さん自ら飛ばし方と作り方を実演している。

飛び上がる姿に歓声



デビっ子に竹とんぼの飛ばし方を教える湯浅稔さん

中央区の湯浅さん 千葉信金で竹とんぼ展

湯浅さんはテレビで首五十センチ飛ぶ「スカイヤンマ」という竹とんぼに魅せられ、都内のサークルに入会。四年前には千葉竹とんぼ倶楽部を発足させた。

湯浅さんが竹とんぼを飛ばすと、自然とデビっ子が近づき、竹とんぼを手にはしゃいでいた。

竹とんぼの実演は十八日と二十日から二十六日まで、湯浅さんの作品は二十六日まで毎日展示する。

「がんばれ！成田市長」

36M 小林 攻おさむ

成田市の市長をご存じでしょうか。千葉工業のOBの小林 攻さんです。4度目の挑戦で当選し、平成15年4月28日に就任しました。各市町村の議員さんとして活躍する千葉工業OBは数多いものの、

首長となると少なく、まして「国際空港都市・成田」の市長ともなると、大変な注目度です。自動車のナンバープレートが、市町村の名前にできるという話題に、小林市長が「国際都市にふさわしく NARITA の横文字を検討している」と記者に話して、大きく報道されましたが、これも成田市の市長の発言だからこそでした。

超多忙の中、成田市50周年の記念事業が行われた直後に訪問してお話を聞くことができました。成田市は、観光と農業の町から国際都市へと変わりつつあります。成田空港と共生する町づくり・地域づくりを進めるために、市民の理解と協力を得てさまざまな取り組みをしています。「空港の完全化」「完全化に連動するまちづくり」「周辺自治体への空港の活力波及」「環境対策」をキーワードにして、一市二町（成田・下総・大栄）の素直な合併を目ざし、都市基盤整備、成田高速鉄道事業といった問題も山積みです。空港の所在都市として、注目度や期待度が大きく「新生成田」を目指していることが感じられました。

忙しい小林市長ですが、毎年の同窓会北総支部の総会には、出席されています。そこでは親しく懇談し、いつも盛り上がっています。

今後とも、その活躍に期待し、同じ千葉工業を卒業した同窓生として、「がんばれ！」と、エールを送ります。詳しくは成田市のHPをご覧ください。 (文責＝長谷川敏一)

平成16年5月7日、母校体育館において、創立68年「創立記念講演会」が行われ、母校卒業の平山善吉先生(27C)を講師に「南極観測の今と昔」という演題で講演していただいた。

平山先生は南極観測隊の第1次・第2次・第3次隊員として活躍され、現在は次のような活躍をされている。日本大学理工学部建築学科名誉教授・日本文理大学工学部デザイン学科教授・日本山岳会会長・日本建築学会副会長・国立極地研究所運営協議員・日本大学エベレスト北東稜登山隊総隊長。また、平山先生執筆の本3冊「南極・越冬期」「エベレスト遥かなり」「南極・昭和基地の建物」が図書室に寄贈された。



母校体育館で講演する平山善吉先生



講演後に書いていただいた色紙

平成16年度進路状況

就職(内定112社 126人) 求人 567社 704人

㈱ケミカルサービス、富士石油㈱、㈱シテムハウス・アイエヌジー、コスモ石油㈱、新日本製鐵㈱君津製鐵所、キャノン㈱、㈱日鐵テクノリサーチかずさ事業所、㈱沖電気カスタマアドテック、京葉瓦斯㈱、㈱丸山製作所千葉工場、東京地下鉄㈱、東京瓦斯㈱、双葉電子工業㈱、JFEスチール㈱東日本製鐵所、三井造船㈱千葉事業所、北総電機産業㈱、日産自動車㈱、三井造船千葉機工エンジニアリング、新日本石油化学㈱川崎事業所、日野自動車㈱、他(順不同)

大学・短大 進学(合格18校 48人)

千葉大学 教育学部1人・工学部1人、芝浦工業大学1人、東京電機大学9人、日本大学6人、千葉工業大学6人、工学院大学1人、湘南工科大学2人、神奈川工科大学2人、東京工芸大学2人、日本工業大学2人、敬愛大学2人、淑徳大学1人、日本大学短期大学部5人、千葉職業能力短期大学校1人、高山短期大学1人、他(順不同)

専門学校

千葉県自動車整備専門学校、日本工学院専門学校、国際理工専門学校、神田外語学院、東京医薬専門学校、国際航空専門学校、他(順不同)

企業が生徒に求めるもの

生徒は真剣に就職先を選択しているが、企業側から次のような問題点が指摘されている。「社会人としての基本的な資質と能力の不足」「職業観・勤労観の未成熟」「フリーター志向」などで、生徒には ①責任感・やる気・誇り ②言葉づかい・マナー・生活態度 ③コミュニケーション能力 ④一般常識・教養 ⑤読み・書き・聞く・計算等の基礎学力 など身に付けてほしい。まずは、あいさつ・言葉づかい・時間を守ることから。(進路指導部長 大木 正臣)

東葛支部県外地区(東京・神奈川)の設立

東葛支部長 立崎作次(26C)



当支部は、平成11年6月に設立し、そのエリアは、市川以北の柏、野田等と西部の浦安を加えた7市1町です。卒業生は450名位在住していますが、会員数は70名程度

で推移してきました。設立当初から、会員増に努めてきましたが、移住者が多い地域性もあつてか、成果が上がりませんでした。幹事会等の論議を経て、坂巻常任幹事が他県在住の同期生へ入会勧奨を働きかけ、数名の入会希望者がいました。これは、入会希望者が県外に多く居ることを示してくれました。

そこで、坂巻氏の同期(34M)の吉田氏・土屋氏に同調を求め、県外地区設立へスタートしました。まず、同窓会基金の提供者などで過去に協力実績のあった同窓生から東京・神奈川在住者をリストアップし、案内文送付の対象者を決めました。そして、吉田氏・土屋氏両名と支部長名による「千葉工業同窓会への加入のお願い」の案内文を送付しました。10数名の呼応者があつたので、16年初頭から組織化へ着手、16年5月30日に設立準備会を開催しました。

当日は、筆者、副支部長(高橋、住田、吉田)と坂巻実(34M)及び呼応者9名が出席しました。会場は、豊田先輩が配慮してくれた「東京ガス横浜クラブ」を使用させて頂きました。議事に入り、趣意説明、活動概況、質疑応答後、人事は、地区長に鶴岡和敏氏(27E 小平市)、副地区長に左氏靖雄氏(29C 横浜市)、地区幹事に吉田典昭氏(34M 横浜市)、土屋孝夫氏(34M 川崎市)、地区相談役は、大先輩の豊田治司氏(20C 横浜市)を選出しました。

懇親会は、特製の料理と各人好みの飲物等で今後の発展を暗示する最高の盛り上がりとなりました。そして、地区会の充実、発展を図るため頑張ることを誓い合い散会しました。

新支部長あいさつ

人生とは忘れ得ぬ人々との出会い

千葉支部長 渡辺武雄(30M)



昭和 27 年春、外房大原から両国行き SL 列車で津田沼に遠距離通学を始めました。大網、千葉駅の煤けた操車場を見て大都会に乗り入れた思いでした。

「文化の華も祖国の富も創るは我等ぞその責め重し」の校歌に武者震いしたものです。

◎担任の吉田先生(国語)に漁師言葉を徹底的に矯正され、◎柔道部の岡村先生に「己が強くなるには、稽古相手を強くしろ」と、鍛えられた。◎美術部のダンちゃん(段木先生)には「理想と現実の乖離で人が自殺なんかするもんか！環境が変われば人の心も変わる」と、教えられ、妙に肝っ玉が据わった。

沢山の恩師、先輩のお陰で今の自分があります。学業期、稼業期を終え再度、同窓会という形で千葉工と再会しました。世相、混沌たる今、同窓会活動を通し、新しい出会いと再会に期待しています。

義務感 8 割のスタンスで

外房支部長 高橋正己(32C)



32C 卒の 66 歳です。東金市宿 704-5 に在住、血液型は B 型、4 人兄弟の長男、家族は妻と子供 2 人に孫 2 人、性格は几帳面、人前では明朗闊達、神経質でやゝ短気な理屈屋です。趣味はゴルフプレーにスポーツ観戦、庭いじり、パソコン、デジカメ操作、そしてボンヤリすごすことが好きです。人生観は「生涯賃の人生」。好きな言葉は「継続は力なり」を考えています。購読紙は読売新聞、購読誌は文藝春秋、日経 PC 21 などですが、読書を楽しみながら、現在は県立東部図書館でアルバイトをしています。とりとめなく散文になってしまいました。私のひととなりイメ

ージして頂けたでしょうか。

これまで、同窓会活動とは真面目にお付き合いしてこなかった反省があります。こんな私に突然、持ちまわりの年功序列人事で支部長のお鉢が回ってきて、引き受ける羽目になりました。義務感 8 割のスタンスで、皆様からのご支援ご協力を頂きながら、支部活動の活性化に努めてまいります。どうぞ、よろしく！

電話： 0475-58-7260

Eメール： happymami@nifty.com

自己紹介

千葉市中支部長 岡本保彦(33M)



千工会の皆様には益々ご健勝で、それぞれの分野でご活躍の事とお喜び申し上げます。

小生この度平成 16 年度千葉市中支部定期総会の席上、古川仁司氏の後を引き継ぎ支部長に指名されました。

私は、昭和 33 年工業化学科を卒業して日本触媒の関連会社で市川市に工場がある日本蒸留工業に就職し 60 才定年まで勤め定年後は、岐阜羽島市に本社がある代替医療食品のクロスタニン、ドナリエラの(株)日健総本社の販社千葉クロスタニン販売網の登録マネージャー(健康アドバイザー)をしております。趣味は、ゴルフ、ハイキング(若い時は登山)などアウトドアレジャーならなんでも？千工会は、平成 4 年に千葉支部を 3 支部に発展的分割するに当たり中支部設立準備委員会より参加し、創立総会にて副支部長に指名され、11 年間副支部長を勤めてきました。

支部長に就任し、早半年になりますが、当支部はもちろん学校、本部、他支部の行事等小生のキャパシティをはるかに超え、前任者の偉大さを実感しておるところです。しかし一旦お引受け以上、私なりに千工会の為、中支部の為頑張りますので今後とも諸先輩の方々はじめ会員の皆様方のご指導とご協力をお願い致します。

各地域支部定期総会開催予定

支部名	地域	開催年月日	開催場所	連絡先(支部長・事務局長)
南総支部	君津郡市・袖ヶ浦以南	3月13日(日)	木更津市民会館	小林一臣(34M) 0439-54-4428 高石進(35M) 0439-54-4501
北総支部	四街道以北・八街・印旛・香取	6月5日(日)	佐倉	早尾茂(26E) 043-422-8825 黒川武夫(36E) 043-484-0868
市原市支部	市原市全域	5月23日(日)	市原市原	山田俊雄(28E) 0436-74-3019 田中敏男(31E) 0436-21-1661
千葉市東支部	若葉区・緑区	6月19日(日)	新千葉平成館	嶋村英男(30E) 043-252-2013 秋葉栄(33E) 043-231-2678
千葉市中支部	中央区全域	7月3日(日)	ちば	岡本保彦(33C) 043-232-8903 小林稔(36E) 043-264-5371
千葉市西支部	美浜区・花見川区・稲毛区	4月23日(土)	ちば	石井孝司(30E) 043-241-2526 海保保(29E) 043-273-8793
外房支部	東金・茂原・勝浦・長生・夷隅	4月10日(日)	東金	高橋正己(32C) 0475-58-7260 菰田達夫(34M) 0475-23-7573
京葉支部	船橋・習志野・鎌ヶ谷・八千代	5月8日(日)	玉川旅館	渡辺武雄(30M) 047-483-6859 石神三郎(47C) 047-436-2452
東葛支部	市川以北・浦安・流山	6月12日(日)	八幡会館	立崎作次(26C) 047-385-1617 木間英一(33C) 047-343-0455

栗田雄介投手

オリックス・バファローズに・・・



同窓会報15号で紹介した、近鉄の栗田雄介投手(H11E)が、プロ野球史上初の分配ドラフトでオリックス・バファローズの確保選手となりました。平成16年の成績は、一軍

は9月27日のオリックス戦の1試合だけでしたが、二軍では9回登板して1勝0敗でした。サイドスロー転向、合宿所「球友寮」との別れ、いろいろなことのある一年でしたが、新天地での更なる活躍を期待します。

情報は、www.red-red-berry.com から入手しました。

同窓会本部役員紹介



平成16年度
千葉工業同窓会総会
前列左より、事務局長：長嶋孝雄(42E)、参与：湯浅政彦(16C)、会長：安藤信吉(20M)、副会長(会長代行)：澤邊治夫(20M)、副会長：佐藤勇吉(24E)

後列左より、副会長：海保保(29E)、副会長：早尾茂(26E)、副会長：宮内潔(32C)、会計監査：篠崎庄一郎(25E)、会計監査：高橋正敏(36M)

第20回「同窓祭」開催のご案内

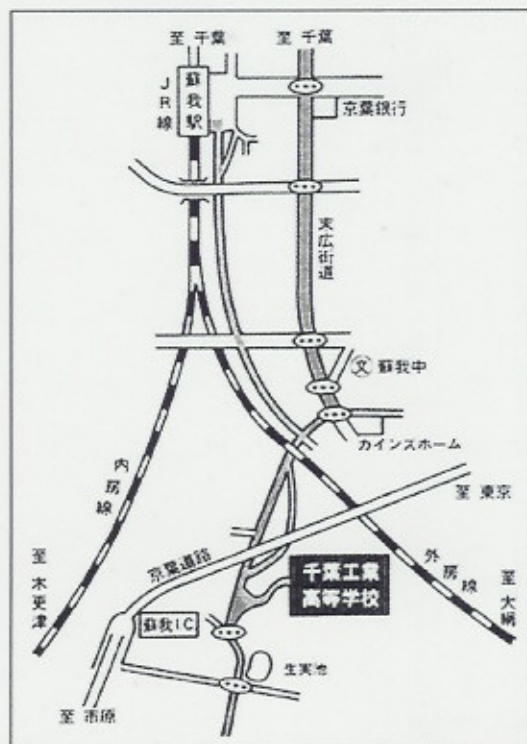
「桜並木の生実校舎で・・・」を、合い言葉に、本年も同窓祭を開催します。今回は20回目の節目の時でもあります。多数の同窓生がご家族連れでお出かけください。いつものように9時から「スーパー竹とんぼ教室」も開催します。クラスメートはもとより、クラブ活動、通学を共にした仲間を誘い合って参加されますようご案内申し上げます。

懐かしい恩師の先生方も大勢お見えになります。ご出席の有無を同封のはがき(50円切手を貼って)で3月15日までに投函願います。会費および同窓会報基金の振込は、同封の振込用紙をご使用ください。また、その近くにならないと都合がつかない場合は、当日会場で受付致します。

日時 4月3日(日) 11:30~14:30
会場 千葉工業高等学校 食堂
会費 1,000円

- ・ 卒業5年以内の同窓生と、ご家族のうち18才未満の方は無料です。

- ・ 喜寿のお祝いを予定しています。生年月日の記入をお忘れなくお願いします。



編集後記

ようやく、同窓会報第16号をお届けすることが出来ました。と、いうのも今回より編集スタッフが交代して、前任者の偉大さを思い知らされ、どうなることかと心配したからです。前号までの24ページ組みは早々と諦め、実力に合わせたスタイルにしました。スタッフ交代とはいっても、新任は3名だけ、残りは歴戦のつわもの、おかげさまで、各支部の皆様のご協力をいただき、原稿の集まりは順調でした。

県外で活躍するOBの「遠く離れて母校を想う」を特集しました。ふるさとそして母校と青春を胸において、同窓の仲間と生きていきたいものです。そんな優しい気持ちで、おそれるおそれるご批判をお待ちしています。

11名の広報編集委員をご紹介します。
副編集委員長：渡辺武雄(30M)、事務局長：大塚昌男(46E)、委員：永井和男(27E)、関口昌利(30M)、宇野昭房(34M)、大野繁樹(36M)、石橋 暁(40C)、滝口貞一(40E)、鈴木晶蔵(42E)、橋本 勇(42E)、編集委員長：長谷川敏一(39M)

題字 安藤 信吉

千葉工業同窓会報

第16号

発行日 平成17年3月1日

発行者 千葉工業同窓会 会長 安藤信吉

事務局 〒260-0815

千葉市中央区今井町1478

千葉県立千葉工業高等学校

TEL 043-264-6251 FAX 043-268-5524